

B一(8) 「友情・信頼」

～ あなたにとって友情とは ～

- 1 日時 令和2年7月7日 14:00～14:50
- 2 学年 第1学年1組 (男子15名 女子16名 合計31名)
- 3 場所 新館2F 1年1組教室
- 4 ねらい

互いに絵描きを目指していたハンスとデューラーは、このままでは望んでいた環境でないと思い、一方が勉強をし、もう一方が働きお金を送るという生活をするようになった。先に働くことを選んだハンスは、先に勉強することになったデューラーを3年間も支え続けた。3年たった時のデューラーの手紙を読んだハンスの気持ちを通して、友情や信頼とは、分かち合うことや高め合うこと、飾らない自分でも受け入れてくれるなどの心からの友情であることに気づき、互いによりよい友達関係を築こうとする態度を育てる。

5 主題設定の理由

○ 教材観・題材観

本時の主題は、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」の内容項目に当たる。

真の友情は、互いに変わらない信頼があって成り立つものであり、相手に対する敬愛の念がその根底にある。それは、相手の人間的な成長と幸せを願い、互いに励まし合い、高め合い、協力を惜しまないという平等で対等な関係である。友達を「信頼」するとは、協力を疑う余地がなく、いざという時に頼ることができる信じて、全面的に依頼しようとする気持ちを持つことであり、その友達の人間性に賭けることである。相手の人柄に親しみを感じ、敬愛する気持ちを持ち続けることである。分かち合い、高め合い、心からの友情をより一層大切に育てることが大切である。

人間の社会は、互いに協力することによって望ましい社会生活が営まれ豊かな文化が形成されるのである。そこに生じる友情は、人間として互いの特徴や個性を尊重し、互いに支え、競い合い、高めあうことによって、深まるものである。青年前期にある中学生は、心身の成長は目覚ましいが、不安定な時期でもある。感情の起伏が目立ち、ともするとささいなことから感情の行き違いが生じ、せっかくの友達関係が台無しになることもあるが、これらの悩みや葛藤を乗り越えることで、真の友情は培われていくものである。

○ 生徒観

本学級の生徒は、ほとんどの生徒が同じ小学校から進学している。そのため、固定した人間関係になっている面もある。しかし、中学生になり、長期間の休校や部活動の開始など、これまでにない経験から人間関係も変わりつつある。これまでの人間関係から変わろうとする反面、これまでの関係を保ちたいという葛藤がある様子が見られる。友達の言動に傷つくこともあれば、相手も他の場面で傷ついているなどもすれ違いも起こっている。また、これまでは問題が起きたときの仲裁役が教師であることが多かった。したがって、自ら問題を解決したり、言いたいことを素直に伝えることへの難し

さを抱える生徒も多い。

このような生徒に、ハンスとデューラーの関係から、友達との関係について考え、自らの友情観を見つめ、心からの友情に気付き、互いによりよい友達関係を築こうとする態度を育てることは、必要なことである。

○ 資料観・指導観

本資料は、絵の勉強をするデューラーとハンスの話である。親方のもので、2人ともが同時に絵の勉強をすることは難しいと判断したハンスが、交代で勉強する案を提案した。その案は、一方がお金を稼いでもう一方を助け、もう一方が勉強をし、相手の勉強が終わったら交代するというものだった。先に勉強をすることになったデューラーは3年間もハンスを待たせてしまう。そんなデューラーの要望にハンスは文句を言うことなく、働き続け、お金を送り続けた。ようやくデューラーの勉強が終わった頃には、ハンスは職人として成長し、手は絵筆を持ってないほどになっていた。ハンスとデューラーの深い友情について考えることのできる資料である。

指導に当たっては、ハンスとデューラーの友情観から、自分の友情観を再定義させるよう進めていく。まず、先に絵を学ぶデューラーからなかなか交代の連絡が来ず、結果的に3年間働き、お金を送り続けたハンスの気持ちを考えさせる。このときに「お金を送る」や「お金を送らない」などという行為ではなく、なぜハンスはその行為を選んだかという「理由」を考えさせる。個人の意見を短冊に書き、黒板に貼っていく。その際に類型化しながら掲示させ、クラスの仲間の意見を見ることができるようにする。勉強すればするほど、もっともっと勉強したくなるデューラーに対して、なぜハンスは働き続けてお金を送ることができたのかという視点から、改めてハンスとデューラーの関係性に迫る。

展開前半では、短冊に書いた個人の意見を発表するとともに、張り出されたクラスメイトの意見に思うことなどを全体場で発表する。生徒同士での意見の交流が難しい場合は、「友達だからそこまでするの？」や「ハンスも絵の勉強をしたいんだよね？」など、自分の考えを深めることができるようする。「友達」「友情」「信頼」などのキーワードが出てくることが期待される。

展開後半では、ハンスとデューラーの関係性から出てくるであろう「友達」「友情」「信頼」などの言葉を取り上げ、自分自身の友情観について考えさせる。ワークシートを用いて、自分自身の考えを、これまでの経験をもとにまとめさせる。「友達」や「友情」はただの仲良しや気が合うだけではない。互いを高め合うことや、弱い部分を支え合ったり、いけないことを指摘し合ったりするなど含まれる。飾らない自分でも受け入れてくれるなどの心からの友情に気付き、互いによりよい友達関係を築こうとする心情を育てたい。

5 本時の展開

(1) 準備物

掲示物・短冊・ワークシート

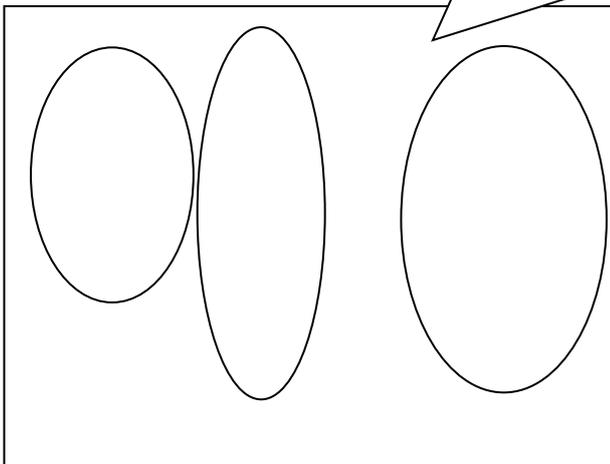
(2) 学習の流れ

学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
1 導入 [1分]		
○本時でやることを確認する。	「今日は2人の若者の話から学び、考えていきましょう。」	・長くならないようにすぐに資料に入る。
2 展開前半 [30分]		
<p>○資料「いのりの手」を読む。 P47 1行目まで</p> <p>○ハンスの気持ちについて考える。Part 1 少人数グループで共有する。 数人が発表する。</p> <p>○ハンスの気持ちについて考える。Part 2 出し合う ①ワークシートに「ハンスがディーラーのために仕事を始めて1年目の時の気持ち」を記入する。 ②短冊に「ハンスがディーラーのために仕事を始めて3年たった時の気持ち」を書く。(5分) 比べ合う 全員が発表し、黒板に貼りに出る。 (意見を類型化しながら掲示させる。)</p> <p>○出てきた意見を発表し、考えを交流し合う。 自分の意見を発表したり、クラスメイトの考えに賛同したり、質問したりする。</p>	<p>発問1 「ハンスはどのような気持ちで、『ディーラー、君が先に勉強しろよ。ぼくが働くから』と言ったのだろう」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分より先に頑張ってもらいたい。 ・優しさ。 ・自分よりもディーラーの方が才能があると思ったから。 </div> <p>中心発問 「ハンスはどんな気持ちで、ディーラーのことを3年間待ったのだろう」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーラーのためなら頑張ろう。 ・勉強頑張っているなら、自分も仕事を頑張ろう。 ・友達だから、ディーラーのことを信じよう。 ・友達だから自分も頑張ろう。 ・自分が先に言ったことだしな。 ・いくらなんでも3年なんて長すぎないか。 ・ディーラー、甘えすぎじゃないか。 ・図々しいな。 ・自分も絵の勉強をしたいのに。 </div> <p>話が進まなければ・・・ 「友達だからそこまでするの？」 「ハンスも絵の勉強をしたいんだよね？」 「ハンスとディーラーは友達なの？」</p>	<p>・範読後、登場人物の確認は素早く行う。 ・ハンスがディーラーと交わした約束について確認する。 P44 8行目～</p> <p>・どの考えもハンスの気持ちとであることを押さえる。</p> <p>・視点が一方に傾いた場合、「○○(反対)の考えもあると思うけど、どう思う」と質問を投げかける。</p> <p>・答えを探すのではなく、考えを深める場として交流させる。 ・一人の生徒に質問が集中しないようにする。</p>

3 展開後半 [16分]		
<p>○資料の続きを読む。</p> <p>○ワークシートに書く。 (10分)</p> <p>○数人が書いた意見を発表する。(6分)</p>	<p>発問 「あなたは友達とどんな関係を築きたいですか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・なんでも言い合える関係。 ・辛いときに一緒にいてくれる。 ・お互いを高め合える。 ・素を出せる。 ・いけない方向に進んでいたら止めてくれる。 ・安心できる </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を全て読んだ後に、ハンスとデューラーの行動を簡単に整理する。 <p>ハンス そのままデューラーを支え、絵筆を持てるような手ではなくなった。しかし、職人として成長することはできた。</p> <p>デューラー 絵の勉強を続け、ハンスに感謝し、その後ハンスの手を描いた。有名な画家になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考えが持てるように、生徒の書いた短冊に印を付けておく。 <p>【キーワード】 友情・友達・信頼など</p>
4 終末 [3分]		
<p>○教師の説話をきく。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の考えをもとに友情や信頼について語る。

(3) 板書計画

生徒が張り出す時に類型化しながら張る。



「ハンスはどんな気持ちで、デューラーのことを3年間待ったのだろう」

- ・自分より先に頑張ってたほしい。
- ・優しさ。
- ・自分よりもデューラーの方が才能があると思ったから。

「ハンスはどのような気持ちで、『デューラー、君が先に勉強しろよ。ぼくが働くから』と言ったのだろう」

ハンスとデューラーの約束

いのりの手